

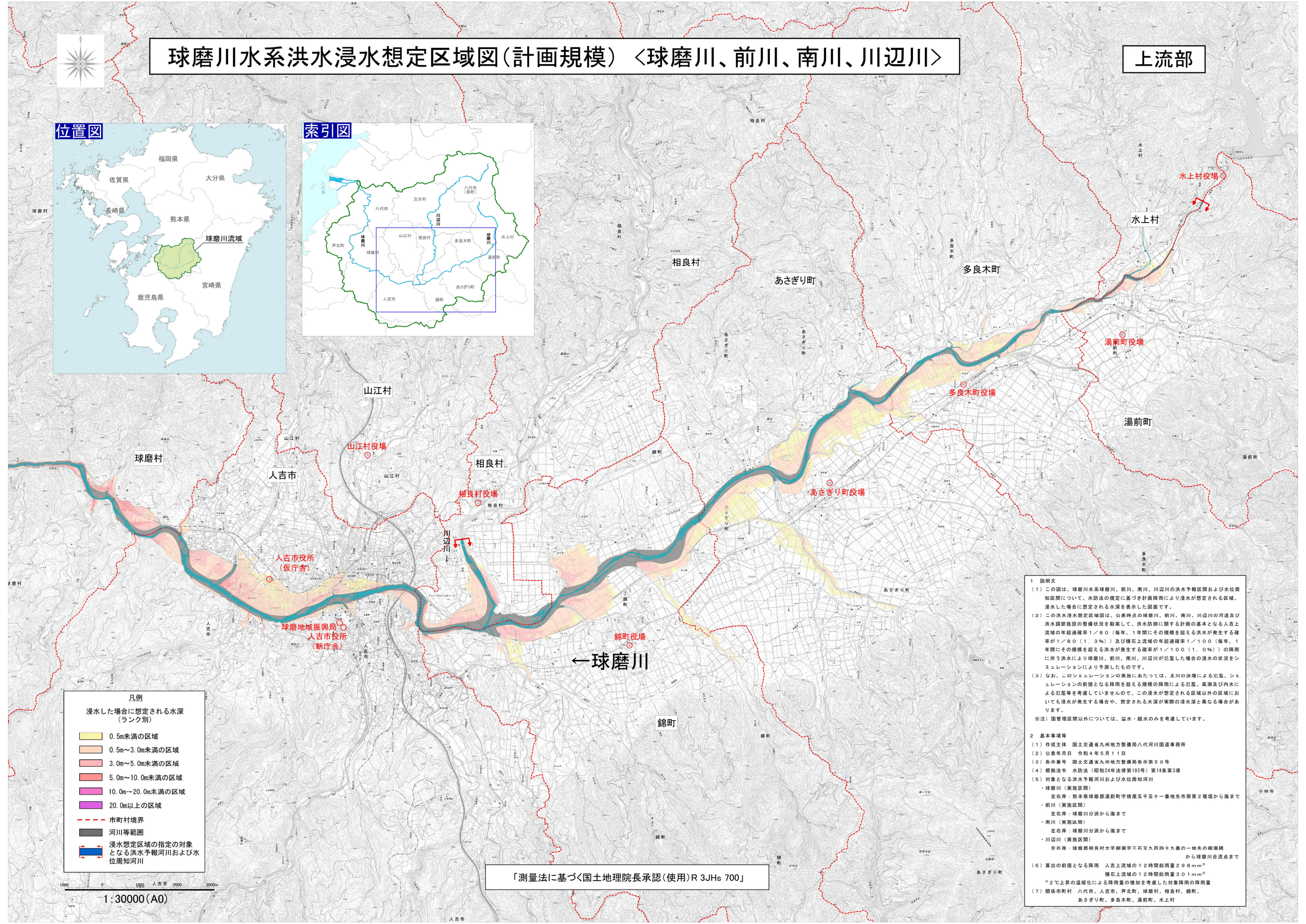
球磨川水系洪水浸水想定区域図(計画規模) <球磨川、前川、南川、川辺川>

上流部

位置図



索引図



凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

市町村境界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象
となる洪水予報河川および水
位周知河川

1:30000(A0)

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JHs 700」

1 説明文

- (1) この図は、球磨川水系球磨川、前川、南川、川辺川の洪水予報区間および水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の球磨川、前川、南川、川辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる人吉上流域の年超過確率1/80(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/80(1.3%)及び横石上流域の年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%))の降雨に伴う洪水により球磨川、前川、南川、川辺川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※注) 国管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所
- (2) 公表年月日 令和4年5月11日
- (3) 告示番号 国土交通省九州地方整備局告示第50号
- (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第3項
- (5) 対象となる洪水予報河川および水位周知河川
 - ・球磨川(実施区間)
 - 左右岸: 熊本県球磨郡湯前町字焼尾五千五十一番地先市房第2堰堤から海まで
 - ・前川(実施区間)
 - 左右岸: 球磨川分派から海まで
 - ・南川(実施区間)
 - 左右岸: 球磨川分派から海まで
 - ・川辺川(実施区間)
 - 左右岸: 球磨郡相良村大字柳瀬字三石又九百四十九番の一地先の柳瀬橋から球磨川合流点まで
- (6) 算出の前提となる降雨 人吉上流域の12時間総雨量29.8mm[※]
横石上流域の12時間総雨量30.1mm[※]
[※] 2℃上昇の温暖化による降雨量の増加を考慮した対象降雨の降雨量
- (7) 関係市町村 八代市、人吉市、芦北町、球磨村、相良村、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村